

2007. 4. 1 第21号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会
高崎市稲荷町20 電話(027)362-2585
発行責任者 吉村 晴子
印刷所 ほその印刷

わたしたちの同窓生

<<108周年>>

会員数 31,131名

平成19年4月1日 現在



同窓会報

椎の樹



ごあいさつ
同窓会長 吉村 晴子

高女同窓生の皆様、ご健勝にて、平成19年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

齋藤氏元会長、角田智恵子前会長のもとで副会長を務めさせて頂いておりましたが、この度平成18年5月の総会にて会長という責任ある大役を承りました。会則にもとづきご推薦頂いた各年代の3名の副会長と共に、母校と同窓会の発展のため、心引き締めお役に立ちたいと思っております。皆様何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。さらには顧問として戸塚咲様と新たに熊倉早子様、角田智恵子様に就任頂きました。4期毎に互選されます。

新会長略歴
高5回卒 平成元年5月
平18年4月 副会長
以来

ましたらどうぞお寄せくださいませ。
当番期の皆様には母校創立記念日の総会、親睦旅行、新年会の準備や、各委員会の設営など1年間を通し順次ご協力いただいております。毎年その学年のまとまりは見事なもので、手腕を発揮して鮮やかにやっておられます。さすが高女の卒業生とあらためて感謝感激いたしております。この会報「椎の樹」は21回を数え、すべての卒業生のもとへお届けしています。母校への想いと、全国の卒業生の青春時代が通じ合えるひとときとなりますよう希っております。

見所より見る所の風姿は、我が離見なり。しかれば我が眼の見る所は、我見なり。離見の見にはあらず。離見の見にて見る所は、すなはち見所同心の見なり。その時は我が姿を見得するなり。『花鏡』
世阿弥は「離見の見」という言葉を用いて、



校長 掛川 尚幸

離見の見

我が物となり切っていないものを、口先だけで人に伝え教えるはしなかつたか。という件に至っては、本校の全教

迎えた私は、「吾日三省吾身・論語」べく、自問自答を繰り返してきました。特に、「伝不習乎」(未だ、十分の実習もなく、)

時には見たくないものもしっかりと見据える心の修養が求められております。
眼前の高齢化社会において、固定した立場だけから物事を見ていて、さまざまな立場からの複眼的視点を持つよう日々努めていかないと、この「美しい日本」で、オ

新校長紹介



飯野 真幸 先生

昭和24年生まれ。公立高校2校勤務の後、県教育委員会事務局へ。学校指導課課長補佐、学校人事課人事主監を経て、平成12年前橋女子高校長。同15年学校指導課長。同16年高校教育課長。同17年総合教育センター所長。趣味は読書、音楽(現群馬県吹奏楽連盟会長)、ウォーキングなど。高崎市在住。

新副会長紹介



大川 悦子 (高20)



海老原 洋子 (高14回)



吉野 烈子 (高9)

同窓会総会

平成18年5月1日(月)
母校 椎樹館

新緑に注がれる陽差しも日々輝きを増し、少し汗ばむ程の好天に恵まれた5月1日、平成18年度同窓会総会が母校の椎樹館にて開催されました。まず、吉村副会長の開会の言葉に始まり、角田同窓会長の挨拶、掛川尚幸校長、島津洋一PTA会長の御祝辞と続きました。また、田口哲男教頭、萩原利幸事務長、平林勉渉外部部長の御列席を頂きました。



新役員には、会則に基づき、推薦委員会により、会長に吉村晴子さん、副会長に吉野烈子さん、海老原洋子さん、大川悦子さんが推薦され、承認されました。



冷たさを残す空気の中にもどことなく春の息吹を感じられるこの良き日に、私達319名は先程無事卒業式を終えることができました。
式を終えた今、本校に在学した3年間を振り返りますと、多くの感動が鮮明に蘇ってきます。常に私達を励まし、勇気づけてくださった先生方や先輩方、そして温かく見守ってくださった同窓会の方々の支援をお願い申し上げます。最後に好きな漢詩を一つ

Table with 3 columns: Date, Event, Contact Information. Title: 平成19年度 行事予定

平成19年度 同窓会総会 & 講演会開催のお知らせ
恒例の総会を下記により開催いたします。会員の皆様、お誘い合わせて多数御参加くださいますようお願い申し上げます。
なお、総会に引き続き、講演会がありますのでご期待ください。
記
1. 日時 5月1日(火)
受付13時45分より
開会14時30分より
2. 場所 母校 椎樹館
3. 講演 「イスラムとその世界」
講師 丑丸 幾三 先生



次に、同窓会の発展に尽力され、今総会で退任される角田会長、松原、東野両会計監査役に花束が贈呈されました。その後、親睦旅行企画や京浜同窓会参加など各委員会の諸連絡が続き、校歌を合唱し、吉野副会長の言葉で閉会となりました。

同窓会役員の改選について

平成18年度同窓会総会において、会則第6条と8条に則り、左記の方々が承認されましたのでお知らせ致します。(任期2年)

- 会長 高5 吉村 晴子
- 副会長 高9 吉野 烈子
- 顧問 高14 海老原洋子
- 顧問 高20 大川 悦子
- 顧問 女26 戸塚 咲
- 顧問 女37 熊倉 京子
- 顧問 女39 角田智恵子
- “ 学校長 掛川 尚幸
- “ 教頭 田口 哲男
- “ 事務部長 萩原利幸
- 理事 高19 堀口まち子
- “ 高22 岡田 恵子
- “ 高36 大槻 恭子
- “ 高39 荒木奈都子
- “ 高40 原 美智子
- “ 高44 齊藤 春果
- 会計監査 高13 越中喜美子
- “ 高18 赤穂三枝子
- 常任幹事
- 女37 桜井 英子
- 女41 宮下 初枝
- 女45 村田喜代子
- 高3 吉原 照子
- 高4 岡田 俊子
- 高1 高4 阿佐美敦子
- 高5 高8 新井 京子
- 高9 高12 戸塚 益江
- 高13 高16 入沢 淳子
- 高17 高20 綱島千栄子
- 高21 高24 中野 敏子
- 高25 高28 横山美津子
- 高29 高32 馬場恵美子
- 当番期 高30 星野 好美
- 次期当番期 高31 稲葉 潤

この他、地区別幹事、期別幹事が同窓会役員として活動しております。会員皆様のご支援ご協力をお願い致します。なお、前号(20号)2面に会則改正内容が詳しく載っております。

2006年度 総会記念講演

「つれづれなるままに」「徒然草」とあそぶ



講師 角田 匡己 先生

「今日のこの会場 しゃいます。」とゆつたりとには、初めて会う方、挨拶をされたあと、角田先生生徒だった方、同級と『徒然草』との「長いつき生だった方がいらっ あい」のお話が始まりました。

つれづれなるままに「徒然草」とあそぶ

講師 角田 匡己 先生

咲きはいい

みずまりのまろみに足をぶらぶらさせる
ぼくたちの咲だとうすうすうしているが
もうおしまいではないよね
さらに宙が間近になろうと
ぼくだけがいる ここ だけに
あつううい あかい

稚の小径

いろがにほふから
ああ。息がとまる とめれば
ゆるゆる指先から拡散する。香細い
気配 ここどこ あからむ子宮の
やわはだに 耳そばだてれば
しのび笑い きこえるような
これもイクサだという「むおん」の笛に
頬をそめて飽きることをしらない遊び
あ。二〇〇六年のまばゆさ
祈るまなこのまわりに
いつばいの あかあい
あらぶる時をとめる
あい。だけが いいぞ
はんなりとたったいちりんの経文
はらりこぼるる気配をなぞるこのにはひ

を聴いて

高30 高木 暢子

まず演題について、「『あそびは学ぶがごとく、遊びは遊ぶがごとく』あそびの中に学ぶことができずから。」と説明されました。そして、時おり資料に目を落としつつ、よどみない調子でお話はすすんでいきました。
資料として、とても細かい文字が並んだ岩波文庫『徒然草』の目次のコピーをいただきました。
「この本一冊を相手に、私がどうつきあって、どうあそんできたのか、この目次でその全貌が分かります。」
旧制高校の国語の教科書に載っていたのがきっかけで、その文章の思想傾向が自分に似ていると感じ、またその文章の論理性に、旧制高校1年の角田少年は深い関心を持つようになりました。
それから長い年月を重ね、『徒然草』には何が書いてあるのか、その本一冊を相手に、私がどうつきあって、どうあそんできたのか、この目次でその全貌が分かります。」
旧制高校の国語の教科書に載っていたのがきっかけで、その文章の思想傾向が自分に似ていると感じ、またその文章の論理性に、旧制高校1年の角田少年は深い関心を持つようになりました。
それから長い年月を重ね、『徒然草』には何が書いてあるのか、その本一冊を相手に、私がどうつきあって、どうあそんできたのか、この目次でその全貌が分かります。」

角田匡己先生の紹介

昭和11年2月20日生。昭和33年東京教育大学国語国文学専攻科卒業、渋川高校に3年、高崎女子高校に10年、高崎高校に13年、前橋南高校に12年、国語教諭として勤務。
著書 詩集『彷徨』『流水』『遊子』『回帰』
高崎市下小崎町在住。奥様は元高女(地学)角田寛子先生

次の世代のために

杉本 清司



折々の自然の美しさ

うつつたのは心ない人達によって捨てられた空き缶、空き瓶等のごみの山である。
幼い頃より公共の場所にごみを投げ捨てる事はいけないと教育され、それは最低限の常識と考えてきた。ごみを道に捨てる人も、自室に捨てる事はまずないだろう。そうした人達は周辺住民に迷惑をかけ、都市や観光地の印象を悪くするばかりか、ポイ捨てについては罪悪感がないのであろうか。こんな現状を少しでも改善しようと、県環境アドバイザーの中で地域に居住し共通理解をもった人達で行動をおこす「高崎地区会」を結成。第一歩として、かつては

ゆかり

三世代、同窓生

高13 越中喜美子



左から めぐみ、喜美子、寿美恵

女34 越中(浅見) 寿美恵
高13 越中喜美子
高38 木村(越中) めぐみ
高女には、母、私、娘と三世代がお世話になりました。
考えてみると大変ありがたいことなのですが、今までの我が家にとっては、特別の意味をもつものではありませんでした。その時代、その時代に受験の苦労があったと思うのですが、過ぎてしまおうと感慨ひとしおというほどのものではないのでした。
しかし、しかしです、もしかししたら四世代目は続かないかもしれないのです。いま、我が家には決定的なことが起こりつつあります。
というのは、現在製造中の四代目は男の子の可能性があります。我が家の男子誕生は実に百年ぶりです。それは、それは大そうありがたいことではあります。四代目を高女にしたいだけには、まず女子である必要があります。少子高齢化はうちも例外ではなく娘のトシを考えるとあとひとりには厳しいのと、そのあとひとりか女の子である可能性も確かなものはありません。
日々の生活のなかで高女の卒業生であることがわかると、ただそれだけでなんとなく親しみを感じるのわたくしだけなのでしょうか。
私の母(旧姓浅見)は女学校34回卒、私は高13回卒、娘は高38回卒です。
母は高女の教えどおり良妻賢母の一生です。私と娘はともに税理士としての仕事をしています。
日々の生活のなかで高女の卒業生であることがわかると、ただそれだけでなんとなく親しみを感じるのわたくしだけなのでしょうか。



「涛声」第9回日本水墨振興秀作選抜展 文部科学大臣賞受賞



親睦旅行 東京散策とランチクルーズ

高31 多胡 忍
 秋晴れの10月15日、同窓生56名が東京に向かって出発しました。
 趣のあるカラーの旅のしおりを手にして、当番期の方々のお心使いに感激すると共に、旅への期待が膨みましました。バスの中では、全員の自己紹介があり、皆さん、「今日の旅行で多めに学んでこよう。」と意気揚々としているので、私も頑張らねばと、気が引き締まる思いでした。
 東京に着き、世田谷区上野毛の閑静な住宅街の中に五島美術館がありました。今回は、10月14日〜22日まで特別展示中の、国宝「紫式部日記絵巻」を見ることができ、本当に幸せでした。当番期の方々が用意してくださったオペラグラスで、細かな着物の柄まで見ることができ、まるで、自分が平安時代にタイムスリップしたような気分になりました。
 ランチクルーズでは、東京から参加の12名の方々と合流し、総勢62名でヴァンテアン号に乗り込みました。竹芝を出発して、レインボープリッジをくぐり、お台場や羽田空

港を見ながら、東京湾を約2時間かけてクルーズしながら、フランス料理をいただきます。優雅な船旅に、身も心も癒され、おしゃべりも弾みましました。
 船から降りて、ヴァンテアン号をバックに記念写真を撮り、六本木ヒルズに向かいましました。ここでは、自由行動となり、私達はテレビ朝日を見学し、その後、六本木ヒルズのウインドウショッピングを

楽しみました。森美術館に行かれた方は、迫力ある作品に驚いたようです。
 帰りのバスでは、「紫式部日記絵巻」の一筆箋に、今日の旅の思いを俳句にして書き、鑑賞しました。最後に、校歌を合唱して、心づくしの楽しい旅も終わり、無事高崎に着きました。
 今回、初参加でしたが、旅の始めから終わりまで、細かく心を砕いてお世話してくださった、当番期の皆様の温かいお心使いに感動した一日でした。心に残る素敵な旅をありがとうございました。伝統のすばらしさを感じました。

先生が高崎のお住まいを整理され、熱海へ転居なさったので初めて一泊で訪ねました。当時、珍しかったケア付きマンションにも興味があったのです。40を過ぎたばかりの私達には、自立した女性の潔い生き方は感動的でした。
 期別同窓会も開かれると、もっとたくさんの方々とお会いでき情報交換等有意義な機会を持てると思います。

高17期 茜会
 高17 神戸且恵
 同窓会の新年会の席上で、還暦を記念して、同期会開催が決定。担当が熊倉先生ということで私達3組が担当幹事を引き受ける事になりました。
 平成18年5月21日、高崎ワシントンホテルプラザで開催された「受験生の母」として、子供達の入試等の情報交換も活発に行われる等、盛り上がりの中、最後に全員で校歌を合唱し、次回同窓会での再会を約束し、名残りを惜しみつつ閉会となりました。

高13 越中喜美子
 現在約60名の会員がおり、年4回高崎近郊でコンペを開催しています。
 会設立から約20年もの間、会長をなさっていらした村田喜代子さんが喜寿を迎えられたのを機に会長を退き、私にお鉢が廻ってきました。私は、入会してから日も浅く、不安でいっぱいですが、皆様のご協力をいただきながらやっていこうと思っています。
 ゴルフ「ドングリ会」
 高19 植松美枝子
 マンドリン部OG会
 高19 植松美枝子
 練習日 毎週水曜(月4回) 午前10時30分〜12時30分まで
 場所 高崎市倉賀野公民館
 現在、高18回〜高25回までの15名前後で、通常は指導者なしでアンサンブルをしています。年間ほぼ3〜4回の

京浜同窓会

高31 藤井聡子
 平成18年6月25日、表参道青山ダイヤモンドホールにおいて、第55回を迎えた高女京浜同窓会が開催されました。当日は母校、同窓会のご来賓の皆様、懐かしい恩師の方々にもご臨席いただき、総勢98名の賑やかな宴となりました。
 京浜同窓会鈴木会長の開会ご挨拶の後、掛川校長、田口教頭よりご祝辞と母校の現状のご報告をいただきました。現役高女生の活躍する様子に参加者の皆様は時代を超えてそれぞれの在学中に思いを馳せていらしたようです。同窓会からは吉村新会長をはじめ

2名の副会長の方々にもお越しいただき、澆刺としたご挨拶とフレッシュな笑顔に会場の同窓生がうなずく姿が印象的でした。
 今年の食事はフランス料理のコースです。事前に会の目的と参加者の構成をお伝えし、特別にメニューを組み立てていただきました。
 しばらくの歓談の後、今回のアトラクションの第一部が始まりました。当番幹事高31回卒業生であり現在高崎市内で整形外科医院を開業している道又(内堀)俊子さんによる健康セミナー「骨粗鬆症の予防について」です。途中、健康体操の指導も含んだ内容でしたが、皆さん真剣に耳を傾けていただき、体操にも積



極的にご参加されておられました。
 第二部はビンゴゲームによる景品抽選会です。番号が発

表される度に会場には少女のようなため息や喜びの音が上がり、当選者の方々にもコメントをいただきました。大変盛り上がりがあったものになりました。
 最後は鈴木会長の指揮のもと、恒例の校歌斉唱です。歌詞と譜面をお配りしておりますが、皆さんそれらを見ることもなく見事な三部合唱が会場に響き渡り、一年後の再会を約束しつつ閉会となりました。全体を通じて感じられた皆様の若々しく、前向きで素敵な姿に、幹事一同深い感銘を受けました。

期別同窓会
 高14 柳田靖子
 素敵な出合いの同窓会
 昨年10月、3年4組12回目のクラス会が湯沢温泉で開かれました。
 結婚、出産等で十数年のブランクがありました。最近三年に一度のペースです。恒例の夕食時、懇談の中で趣味のゴルフ、テニス、ヨガ、シャンソン、茶道等々で話はずみみしました。
 印象に残っているのは、6回目(昭和62年)です。中曽根

高31期 同窓会
 高31 稲葉 潤
 平成19年3月17日、ホテルメトロポリタン高崎にて、たくさんの方々が集い、恩師の御出陣もあって、高31回年同窓会が開催されました。クラス会は各々に開かれていても、学年全体として

の同窓会は卒業以来初めてでした。
 諸先生方はもちろん、29年ぶりの再会という人も多かったようです。会場のあちらこちらから、ニックネームや旧姓を呼び合う賑やかな声が聞こえてきました。
 今も変わらずお元気な先生方のお話を伺い、久しぶりに会った級友と当時の思い出話に花を咲かせました。
 29年前には想像もつかなかった「受験生の母」として、子供達の入試等の情報交換も活発に行われる等、盛り上がりの中、最後に全員で校歌を合唱し、次回同窓会での再会を約束し、名残りを惜しみつつ閉会となりました。
 高24 須藤静子
 高女同窓会「コール・椎樹」は、小林美佐子先生(高18)、横塚恵子先生(高21)のご指導のもと、
 毎月 第2日曜日
 午前10時より
 椎樹館 和室
 で練習しています。
 平成18年度は、12月2日に、ヴォーチェ・リリカコンサートに出演し、練習の成果を発表させていただきました。また、新年会では、これからの私たちなりの音楽を育んでいこうという決意も新たに、清澄の心持で演奏させていただきました。
 【連絡先】 須藤静子
 放送大学「毛野の広野会」
 高26 広瀬節子
 昨年放送大学への入学を勧誘しましたら、同期生一名が単位履修生としてハンダ語の勉強を始めました。私はボランティア活動をテーマに卒論を書きました。
 秋には、二人で群馬学習センターの研修旅行に参加し、県内でもとに学ぶ人々と交流いたしました。
 群馬学習センターでの講演会やクラブ活動にも参加しています。私は3月に卒業になりましたが、継続して登録します。ご一緒に如何ですか。
 【連絡先】 広瀬節子

母校の近況

●「山の家」慰霊碑清掃

山の家は昭和40年に孺恋村に作られ、生徒の合宿等に利用されていましたが、昭和51年8月に、本白根登山中に硫化水素を吸った生徒2名と教員1名が亡くなるという痛ましい事故が起きてしまいました。その後山の家は解体されましたが、毎年、学校関係者による慰霊が行われています。

平成18年度も7月31日に、学



校職員とPTA役員で慰霊碑の清掃を行いました。また、傷みのひどかった学校標識柱を新しいものに変えました。

きれいに草が刈られ、お線香が漂う中、碑に静かに手を合わせて、3名の皆様のご冥福をお祈り致しました。

部門において、昨年に引続き入選を果たしました。

「椎樹」は部員10名の小説や詩、短歌を載せたもので、今年で63号という長い伝統を誇ります。過去6年間に4回、前記コンクールで入賞した実績を評価され、文藝春秋「文学界」7月号でも文芸部ルネッサンスのページで紹介されました。お互いの作品を読み添削し合うというシステムが、先輩たちから受け継がれており、それが部誌の完成度の高さに繋がっているようです。



●「椎樹」全国で入選

部活動というと、何かと運動部が目立ちますが、文化部においても、めざましい活躍が見られます。

文芸部では、部誌「椎樹」が、全国高校文芸コンクール文芸誌

●部活動の記録(全国大会成績)

- 《インターハイ出場》
 - 陸上部 (800m、400m、4×400mリレー)
 - 山岳部
 - ソフトテニス部 (個人)
 - 水泳部 (100mバタフライ 6位入賞)
 - 空手道 (個人)
- 《国民体育大会出場》
 - 陸上部 (少年A400m 10位)
 - 水泳部 (100mバタフライ 8位入賞、200mリレー 6

- 位入賞、400mメドレー 6位入賞)
 - 《全国総合文化祭参加》
 - 音楽部、書道部、百人一首部
 - 《NHK全国高校放送コンテスト出場》
 - 放送部 (ラジオドラマ部門)
 - テレビドラマ部門)
 - 《全国ギターマンドリンフェスティバル》
 - マンドリン部 (優秀賞受賞)
- ↓写真はマンドリン部の合奏



●平成18年度 大学合格数 現役+過年度卒()内 3月30日現在

【国立大】	名	数	【私立大】	数
北海道大	2(1)		慶應義塾大	14(2)
東北大	6		上智大	10
筑波大	7		津田塾大	13(1)
群馬大	48(3)	他16校計	東京女子大	22
千葉大	4	【公立大】	東京理科大	34(3)
お茶の水大	8	群馬県立女子大	日本女子大	26(2)
東京大	3(1)		明治大	35(2)
東京外国語大	4	高崎経大	立教大	26(5)
新潟大	14	首都大東京	早稲田大	37(4)
金沢大	5	他6校計	など	計 674(68)

顕彰

女43 鈴木和子さん
瑞宝単光章 (民生委員)

女43 瓜生カクエさん
瑞宝単光章 (統計調査員)

高3 今川敦子さん
旭日雙光章

高5 小池千恵子さん
藍綬褒章 (調停委員)

高13 猿谷道子さん
藍綬褒章 (調停委員)

- 編集委員会
- 高5 吉村晴子・高9 吉野烈子
 - 高14 海老原洋子・高20 大川悦子
 - 女43 関根みどり・女46 吉村節子
 - 高3 金井幸子・高4 岡田俊子
 - 高17 善如寺高子・高19 武井和子
 - 高20 齊藤信子・高22 田中和子
 - 高23 福田和子・高25 林みずみ
 - 高26 広瀬節子・高27 冬木嘉子
 - 高28 羽鳥康子・高30 高木暢子
 - 高30 乾裕子・高31 清水実紀
 - 高31 松田久枝・事務局 高19 堀口まち子・高36 大槻恭子

平成19年2月4日、今年も同窓会新年会が高崎ビューホテルにて、学校長掛川尚幸様、教頭田口哲男様、事務局局長萩原利幸様3名のご来賓をお迎えし、多くの同窓生が出席する中、盛大にそして華やかに開催されました。



新年会

高30 清水郁代

吉村晴子新会長のご挨拶に始まり、掛川校長よりご祝辞を賜りました。母校の後輩達が様々な場面で活躍するお話しもご紹介いただき、あらためて高女の素晴らしさを実感いたしました。続いて田口教頭のご発声で乾杯、祝宴に入り、各テーブル和やかな雰囲気です。お祝いの気持ちで寛ろぎと語らいのひと時を過ごしました。

アトラクションでは、チェンバロ奏者として活躍中の大木和音さん(高41)の珠玉の演奏を堪能いたしました。大木さんは優美で温かなお人柄が偲ばれるトーク、選曲も新会長就任のお祝いの気持ちを込めた雅で華やかな曲、繊細な楽器から繰り出されるダイヤモンドのキラキラした輝きを彷彿させる音色、和と洋を巧みに取り入れた心和む曲の演奏；等々に私達は時間を忘れ、酔いしれました。



続いて同窓会合唱団「コーラル・椎樹」が、指揮小林美佐子さん(高18)伴奏横塚恵子さん(高21)で美しい女性合唱のハーモニーをご披露してくださいました。そして、全員で「ふるさと」を合唱。約300名近くの凛とした歌声には心が和むと共に、歌の持つパワーに励まされた思いがしました。

その後、事務局より新しい校内理事の紹介と連絡、旅行委員より親睦旅行のご案内、高30回から高31回へと当番期の引継ぎが行われました。最後に、流れるような8分の6拍子の校歌を全員で声高らかに合唱し、懐かしさと感動とを味わいつつ閉会となりました。

◆女28 平形まち (高崎市) おかげさまでいつも健康にすごしております。皆様もお元気で!!

◆女37 武田ふさ子 (富士宮市) 母校の名前を見聞きしますと大変なつかしく感じます。もう83歳になり、足腰は弱くなりましたが自立してやっております。母校のご発展をお祈りしております。

◆女38 三橋きよ子 (沼津市) おかげさまで年を重ね元気でおります。母校の新聞を御送りいただき楽しく嬉しく拝読致しました。古い歴史のあります学校が益々良い生徒さんで発展出来るよう祈ります。

◆女39 星野 泉 (横浜市) 今一人暮らしですが、何とか健康です。居ります。

◆女44 川村ソメ (みどり市) いつも会報を有り難く御座います。とてもなつかしく、時々名簿を広げたり校章をながめては、いまだに皆様の事

北から南から

◆女46 相場恒子 (高崎市) 年齢はかさねましたが、元気でやっております。前の女子高の近くにおります。桜の咲く頃は相変わらず見事です。

◆女46 小山伸子 (高崎市) 同窓会報毎年楽しみに拝見させて戴いております。私達の時代と異なり、生徒の皆さん学問、運動と学生生活を送っておられること幸せと思えます。その反面、私も会報を楽しみにしております。

◆女48 安藤淑子 (蕨市) 子育てが終わった50歳頃からコーラスを始めましたが、60歳に入った頃から声が出にくくなり、思い切って65歳からフルートを習い始めました。かれこれ10年、今では地元のアンサンブルの一員になり、楽しいハーモニーを奏でていきます。

◆女45 長坂富美子 (武蔵野市) ことしも「椎の樹」をお届けくださいましてありがとうございます。同期の方が活躍の様子を拝見するのが何よりの楽しみでございます。

◆高16 三木妙子 (高崎市) 昭和39年3月高女を卒業。同43年4月からスタートした吾妻高校勤務から38年、平成18年3月末で定年退職致しました。教職の傍ら、社会人学級で続けてきた「源氏物語講座」と俳句指導が20年続きました。3月に『源氏物語の世界』として出版致しました。

◆高17 加藤和子 (町田市) 高女を卒業して41年になります。今年1月に親友と高崎の町を徘徊し、母校も変わっていました。あの頃が懐かしく思い出されました。

◆高18 石井恵子 (名古屋市中) 時も場所も速のいて、忘れ

かけている高女時代のことをしばし思い出させてくれる「同窓会報」いつもお送り頂きありがとうございます。

◆高42 黛 公音 (安中市) カナダに移住してしまいました。お世話になりました。返しが出来なくて申しわけございません。

◆高49 久保寺梨江 (高崎市) 昨年(2005年)7月に『海とコンタクト』という児童書を出版し、今年は大学院に入学を果たしました。いつまでも、夢を叶えるために頑張る高女OGでありたいなと思っております。

◆高6 高津あい子 (大阪市) 御陰様で元気で頑張っております。4月より京都の孫娘が進学のため同居。独り暮らしより解放。生活リズムが戻って参りました。

◆高13 猿谷道子さん 藍綬褒章 (調停委員)

◆高5 小池千恵子さん 藍綬褒章 (調停委員)

◆高13 猿谷道子さん 藍綬褒章 (調停委員)

◆皆様お元気でいらっしゃいますか。すっかり葉を落とした木々の枝に、小さな小さな芽をみつけ、なんともいえぬ感動を覚えた冬の朝です。会報がお手元に届く頃には、緑が街を色どり、花の季節を迎えていることでしょう。◆平成18年度第1回編集会議は、新しいメンバーも加わり9月に開かれました。同窓会の活動や様子を、より分かりやすく見やすく編集するには、どうしたらよいかとの話し合いから始まりました。回を重ねる中で、世の中の動き、学校の今昔、同窓の方々のこと、恩師への思いと心を馳せる共通の時間を、編集委員として持てるのは、幸せなひとときでもあります。こんな意見もありました。◆京浜同窓会は毎年開催されますが、関西地区にも同窓会ができたらいと

◆「椎の樹」への意見、感想、会員へのおよびかけ、お知らせしたいこと等々、編集委員までお寄せください。いつでもお待ちしております。住所変更も忘れなく連絡してください。

編集委員長 高9 吉野烈子

◆皆様お元気でいらっしやいますか。すっかり葉を落とした木々の枝に、小さな小さな芽をみつけ、なんともいえぬ感動を覚えた冬の朝です。会報がお手元に届く頃には、緑が街を色どり、花の季節を迎えていることでしょう。◆平成18年度第1回編集会議は、新しいメンバーも加わり9月に開かれました。同窓会の活動や様子を、より分かりやすく見やすく編集するには、どうしたらよいかとの話し合いから始まりました。回を重ねる中で、世の中の動き、学校の今昔、同窓の方々のこと、恩師への思いと心を馳せる共通の時間を、編集委員として持てるのは、幸せなひとときでもあります。こんな意見もありました。◆京浜同窓会は毎年開催されますが、関西地区にも同窓会ができたらいと

◆皆様お元気でいらっしやいますか。すっかり葉を落とした木々の枝に、小さな小さな芽をみつけ、なんともいえぬ感動を覚えた冬の朝です。会報がお手元に届く頃には、緑が街を色どり、花の季節を迎えていることでしょう。◆平成18年度第1回編集会議は、新しいメンバーも加わり9月に開かれました。同窓会の活動や様子を、より分かりやすく見やすく編集するには、どうしたらよいかとの話し合いから始まりました。回を重ねる中で、世の中の動き、学校の今昔、同窓の方々のこと、恩師への思いと心を馳せる共通の時間を、編集委員として持てるのは、幸せなひとときでもあります。こんな意見もありました。◆京浜同窓会は毎年開催されますが、関西地区にも同窓会ができたらいと

